

4 諮問学給第1号

一宮市学校給食審議会  
会長 渡辺 昭 様

一宮市学校給食審議会設置要綱第1条の規定に基づき、次の事項について貴審議会の意見を求めます。

令和4年7月29日

一宮市教育委員会  
教育長 高橋 信 哉



記

学校給食費の改定について



1 学校給食費について

学校給食費については、学校給食法第11条に規定されています。

学校給食の実施に必要な施設設備費、学校給食に従事する職員の人件費、修繕費は、義務教育諸学校の設置者の負担とし、それ以外の経費は保護者負担としています。

経費区分	負担区分	法的根拠	備考
施設設備費	設置者	学校給食法第11条第1項	
人件費		学校給食法第11条第1項 同法施行令第2条第1項第1号	
修繕費		学校給食法第11条第1項 同法施行令第2条第1項第2号	
光熱水費	設置者又は保護者*	学校給食法第11条第2項	本市では 設置者負担
食材料費	保護者	学校給食法第11条第2項	学校給食費

\*光熱水費については学校の設置者の負担とすることが望ましいこと。S48.6「学校給食の実施に関する事務処理および指導の指針について」(文部省)より

【関係法令】

○学校給食法(昭和29年6月3日法律第160号) -抜粋-  
(経費の負担)

第11条 学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費のうち政令で定めるものは、義務教育諸学校の設置者の負担とする。

2 前項に規定する経費以外の学校給食に要する経費(以下「学校給食費」という。)は、学校給食を受ける児童又は生徒の学校教育法第16条に規定する保護者の負担とする。

○学校給食法施行令(昭和29年7月23日政令第212号) -抜粋-  
(設置者の負担すべき学校給食の運営に要する経費)

第2条 学校給食の運営に要する経費のうち、法第11条第1項の規定に基づき義務教育諸学校の設置者が負担する経費は、次に掲げる経費とする。

(1) 義務教育諸学校において学校給食に従事する職員(学校教育法(昭和22年法律第26号)第37条(同法第49条及び第82条において準用する場合を含む。)又は第69条の規定により義務教育諸学校に置かれる職員をいう。)に要する給与その他の人件費。ただし、市町村立の学校にあっては、市町村立学校職員給与負担法(昭和23年法律第135号)第1条の規定により都道府県の負担とされる経費を除く。

(2) 学校給食の実施に必要な施設及び設備の修繕費

## 2 一宮市の学校給食費について

現在、一宮地区の学校給食は、2か所の学校給食共同調理場（共同調理場）で、尾西・木曾川地区は、各学校敷地内の給食調理場（単独校調理場）で調理しています。

本市の学校給食費（保護者負担分）は、平成17年度の合併当初、地区ごとに異なっておりました。当審議会で検討を重ねた後、教育委員会での審議を経て、平成27年4月以降の学校給食費を下記のとおり統一しました。

本市では、学校給食費を平成27年度から据え置きながら、献立や食材の工夫を行い、食材料費の節減を図りつつ、栄養バランスに配慮した安全で安心な学校給食の提供に努めてきましたが、昨今の食材価格の値上りや令和元年10月1日からの消費税率10%への引き上げに対しても、学校給食の食材に対しては軽減税率（8%）が適用されたことから、学校給食費は据え置かれています。しかしながら、物価や輸送費等の上昇により、牛乳、主食（米飯・パン・麺）などの単価も上昇していることから、安定的に給食を提供していくため、定期的に学校給食費の見直しを行っています。

### 【現在の学校給食費】

日額・1食あたり	小学校	250円
	中学校	285円

### 【合併後の給食費の改定状況】

#### 《小学校》

	共同調理場	単独調理場	
	一宮地区	尾西地区	木曾川地区
H17（市町村合併時）	192円	230円	240円
H20	220円	230円	←
H26（消費税率8%）	226円	236円	←
H27	250円	←	←
R01（消費税率10%）	250円（据え置き）	←	←

#### 《中学校》

	共同調理場	単独調理場	
	一宮地区	尾西地区	木曾川地区
H17（市町村合併時）	223円	260円	270円
H20	250円	260円	←
H26（消費税率8%）	257円	267円	←
H27	285円	←	←
R01（消費税率10%）	285円（据え置き）	←	←

### 3 食材価格について

主食（米飯・パン・麺）、牛乳、副食（おかず等）などの食材は、学校給食費（保護者負担額）で購入しています。

《共同》

		1食単価	主食	牛乳	副食
小学校	令和4年度	250.00円	52.13円	56.17円	141.70円
	平成27年度	250.00円	51.70円	50.74円	147.56円
中学校	令和4年度	285.00円	62.24円	56.17円	166.59円
	平成27年度	285.00円	63.51円	50.74円	170.75円

出典：市政概要（令和4年度値は9月公表予定）

《単独》

		1食単価	主食	牛乳	副食
小学校	令和4年度	250.00円	50.46円	56.17円	143.37円
	平成27年度	250.00円	49.10円	50.74円	150.16円
中学校	令和4年度	285.00円	61.90円	56.17円	166.93円
	平成27年度	285.00円	59.86円	50.74円	174.40円

出典：市政概要（令和4年度値は9月公表予定）

#### 【主食と牛乳の価格】

主食（米飯・パン・麺）については、公益財団法人愛知県学校給食会で定める県内統一価格となっています。

牛乳については、愛知県が学校給食用牛乳の供給に係る保護者負担額等を定め、県内統一価格となっています。

《共同》

#### ・小学校

令和4年度の価格 主食 52.13円 + 牛乳 56.17円 = 108.30円 上昇率 5.720%

平成27年度の価格 主食 51.70円 + 牛乳 50.74円 = 102.44円 上昇額 5.86円

#### ・中学校

令和4年度の価格 主食 62.24円 + 牛乳 56.17円 = 118.41円 上昇率 3.641%

平成27年度の価格 主食 63.51円 + 牛乳 50.74円 = 114.25円 上昇額 4.16円

主食と牛乳の平均上昇率：4.68%

《単独》

・小学校

令和 4 年度の価格 主食 50.46 円+牛乳 56.17 円=106.63 円 上昇率 6.801%

平成 27 年度の価格 主食 49.10 円+牛乳 50.74 円= 99.84 円 上昇額 6.79 円

・中学校

令和 4 年度の価格 主食 61.90 円+牛乳 56.17 円=118.07 円 上昇率 6.754%

平成 27 年度の価格 主食 59.86 円+牛乳 50.74 円=110.60 円 上昇額 7.47 円

\* 主食と牛乳の平均上昇率：6.78%

【副食食材の価格】

副食の食材調達については、1食単価から主食と牛乳の価格を除いた額を基準にして、物資選定の会議で決定しています。最近では、食材の味や調理しやすさといった観点のみならず、異物混入の恐れや、アレルギー含有の程度といった観点も考量的上、決定しています。

《共同》

・小学校

令和 4 年度の価格 副食 141.70 円 上昇率△3.971%

平成 27 年度の価格 副食 147.56 円 上昇額△5.86 円

・中学校

令和 4 年度の価格 副食 166.59 円 上昇率△2.436%

平成 27 年度の価格 副食 170.75 円 上昇額△4.16 円

\* 副食購入費用の平均上昇率：△3.20%

《単独》

・小学校

令和 4 年度の価格 副食 143.37 円 上昇率△3.971%

平成 27 年度の価格 副食 150.16 円 上昇額△5.86 円

・中学校

令和 4 年度の価格 副食 166.93 円 上昇率△4.283%

平成 27 年度の価格 副食 174.40 円 上昇額△7.47 円

\* 副食購入費用の平均上昇率：△4.13%

副食食材の物価動向は、実際の購入実績の他、食品価格動向調査（農林水産省）、消費者物価指数（総務省）などが参考となります。

## 4 給食費の改定について

令和3年度の学校給食審議会において、令和4年度の審議会前に専門部会を開催し、給食費を検討することとなりました。そのため、令和4年度に給食費部会を発足し、令和4年8月2日に開催した学校給食審議会給食費部会において、給食費の改定については次のとおりとなりました。

主食と牛乳価格の上昇率は、令和4年度において、4.68%から6.78%となっている。主食の供給元では、昨今の物価上昇等の影響を受け、令和5年度には大きく値上げする動きがある。また、牛乳価格は、毎年度、前年度2月頃の入札価格をもって価格決定されており、令和5年2月までは牛の飼料代や輸送費などの高騰が落ちつく気配はないため、令和5年度牛乳価格は一層値上げとなると考える。

一方、平成27年度を基準とした副食価格の上昇を総務省の消費者物価指数でみた場合には、現在、食料品全体では9.6%の上昇、生鮮食品では14.6%の上昇となっている。また、農林水産省の食品価格動向調査でみた場合には、加工食品で13.5%の上昇となっている。

加えて、帝国データバンクによる価格動向調査の結果においては、小麦、油脂の世界的な高騰に加え、物流費、梱包資材、円安による輸入コスト等を原因とした、令和4年9月以降に8000品目の食品の値上げが予定されている状況であるとされており、令和5年度までには、現在よりも、一層の価格上昇が見込まれる状況と考える。

給食費は、平成27年度以来据え置きとし、昨今は献立の工夫などで乗り切ってきたが、こうした状況下、献立の工夫なども限界となっており、適切な栄養の摂取や健康の保持増進といった学校給食の目的を考えた場合、給食費を値上げすることなく令和5年度の学校給食事業を行うことは、適切とは言えない。

また、学校給食事業の安定のためには、食品価格の改定がある毎に給食費を改定していくことは避け、特殊な事由がない限り、当面の間は定めた給食費を維持することが適当であるとした。

以上から、令和5年度以降における学校給食費については、値上げとし、その値上げ額については、総務省の消費者物価指数9.6%、農林水産省の食品価格動向調査13.5%、加えて、帝国データバンクにおける主な食品価格の値上げ率である加工食品16%、原材料13%など、並びに、改定価格は当面据え置かれることを考慮し、約14%の給食費値上げを適当とし、学校給食費の額及び改定期期については次のとおりとする。

### 1. 学校給食費の額

小学校 250円を285円にする。

中学校 285円を325円にする。

### 2. 改定期期

令和5年4月1日





物資選定単価(共同調理場)について

(単位 円(税抜))

	品名	規格	単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2 6月 (注3)	R3	R4	上昇率	
												R4/H27	R4/R3
肉	豚肉	愛知産(20×40×2.5mm)	kg	698	745	698	670	595	588	595	689	-1.29%	15.80%
	鶏角切肉	国内産(15mm角)	kg	570	744	738	670	595	585	595	720	26.32%	21.01%
	計			1,268	1,489	1,436	1,340	1,190	1,173	1,190	1,409	11.12%	18.40%
魚	塩さば	ノルウェー・ アイスランド(60g)	切	47.0	41.0	42.0	39.0	46.5	45.0	47.0	55.4	17.87%	17.87%
	いか短冊	ペルー・チリ産 1kg入り	kg	760	950	950	950	950	790	840	790	3.95%	-5.95%
	計			807	991	992	989	997	835	887	845	4.76%	-4.69%
冷凍食品	冷凍豆腐	愛知県産大豆使用 10kg入り	kg	335	335	330	347	347	347	347	347	3.58%	0.00%
	冷凍さやいんげん(注1)	北海道産(H27.H29は9月 価格)1kg入り	kg	668	753	824	798	792	780	750	710	6.29%	-5.33%
	計			1,003	1,088	1,154	1,145	1,139	1,127	1,097	1,057	5.38%	-3.65%
乾物	ひじき	米ひじき 韓国産 1kg入り	kg	2,250	2,500	2,860	2,860	2,860	2,860	2,860	2,860	27.11%	0.00%
	干しいたけ	国内産(千切りにスライス したもの)1kg入り	kg	3,740	6,050	6,800	6,780	6,240	5,700	5,700	5,430	45.19%	-4.74%
	計			5,990	8,550	9,660	9,640	9,100	8,560	8,560	8,290	38.40%	-3.15%
調味料	しょうゆ	20リットル ポリタンク入り	L	140	140	140	140	140	140	140	154	10.00%	10.00%
	さとう	20kg入	kg	165.5	165.5	169.5	167.5	166	166.5	166.5	183.5	10.88%	10.21%
	酒 (注2)	1.8リットル	本	580	580	580	580	580	600	630	630	8.62%	0.00%
	みりん (注2)	1.8リットル	本	815	785	785	785	785	800	950	950	16.56%	0.00%
	カレールウ	1kg	kg	585	610	601	597	589	589	589	589	0.68%	0.00%
	サラダ油	~H27米油、H28~菜種油 一斗缶(16.5kg)	缶	3,400	2,696	2,370	2,438	2,418	2,468	2,568	4,740	39.41%	84.58%
	計			5,686	4,977	4,646	4,708	4,678	4,764	5,044	7,247	27.46%	43.68%
缶詰	パイ	~R2 1号缶(固形量1.8kg) R3~ パウチ(固形量 1kg)	kg	310	311	347	369	261	383	725	700	125.81%	-3.45%
	トマトケチャップ	~R2 1号缶(固形量3.33kg) R3~ パウチ(固形量 3kg)	kg	201	201	201	201	201	201	217	228	13.32%	5.23%
	計			511	512	548	571	462	585	942	928	81.53%	-1.45%
合計				15,265	17,607	18,436	18,392	17,566	17,043	17,719	19,776	29.55%	11.61%
参考 合計 (乾物を除く)				9,275	9,057	8,776	8,752	8,466	8,483	9,159	11,486	23.84%	25.40%

(注1)それぞれ4月(4月に発注が無いものは5月)の価格です。ただし、冷凍さやいんげんはH27.9より規格が国産となったため、H27は9月価格、H29も9月価格です。

(注2)R1.10より消費税率10%該当

(注3)学校臨時休業の影響により、6月単価



【総務省】消費者物価指数 10大費目指数（全国）より

基準	食料				生鮮食品				生鮮食品を除く食料			
	H22=100 2010	H27=100 2015	R02=100 2020	合成計算 H27=100	H22=100 2010	H27=100 2015	R02=100 2020	合成計算 H27=100	H22=100 2010	H27=100 2015	R02=100 2020	合成計算 H27=100
H22平均 2010	100.0				100.0				100.0			
H23平均 2011	99.6	93.5		93.5	99.0	88.7		88.7	99.8	94.7		94.7
H24平均 2012	99.7	93.6		93.6	99.6	88.2		88.2	99.7	94.7		94.7
H25平均 2013	99.6	93.4		93.4	99.5	88.2		88.2	99.6	94.5		94.5
H26平均 2014	103.4	97.0		97.0	105.7	93.6		93.6	102.9	97.7		97.7
H27平均 2015	106.6	100.0		100.0	112.9	100.0		100.0	105.4	100.0		100.0
H28平均 2016		101.7	96.2	101.7		104.6	96.5	104.6		101.2	96.1	101.2
H29平均 2017		102.4	96.8	102.4		104.3	96.3	104.3		102.1	97.0	102.1
H30平均 2018		103.9	98.2	103.9		108.3	99.9	108.3		103.1	97.9	103.1
R01平均 2019		104.3	98.7	104.3		104.9	96.8	104.9		104.2	99.0	104.2
R02平均 2020		105.8	100.0	105.8		108.4	100.0	108.4		105.3	100.0	105.3
R03平均 2021			100.0	105.8			98.8	107.1			100.2	105.5
H26.1	101.6				108.6				100.3			
H26.2	101.3				106.5				100.3			
H26.3	101.2				105.0				100.5			
H26.4	103.8				105.6				103.4			
H26.5	103.9				106.3				103.5			
H26.6	103.7				104.2				103.6			
H26.7	103.6	97.3		97.3	102.8	91.1		91.1	13.8	98.5		98.5
H26.8	104.2	97.8		97.8	106.7	94.6		94.6	13.8	98.5		98.5
H26.9	105.4	99.0		99.0	113.5	100.6		100.6	104.0	98.7		98.7
H26.10	104.0	97.6		97.6	103.9	92.1		92.1	104.0	98.7		98.7
H26.11	103.3	97.0		97.0	99.5	88.1		88.1	104.0	98.7		98.7

基準	食 料				生鮮食品				生鮮食品を除く食料			
	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100
H26.12	104.2	97.8		97.8	105.5	93.5		93.5	104.0	98.7		98.7
H27.1 2015	105.9	99.4		99.4	114.8	101.0		101.0	104.2	99.1		99.1
H27.2	105.5	98.9		98.9	112.1	98.1		98.1	104.3	99.1		99.1
H27.3	105.5	98.9		98.9	111.6	97.4		97.4	104.4	99.2		99.2
H27.4	106.6	99.9		99.9	115.3	101.0		101.0	104.9	99.6		99.6
H27.5	107.2	100.5		100.5	118.0	104.1		104.1	105.1	99.8		99.8
H27.6	106.3	100.0		100.0	111.7	100.5		100.5	105.3	99.9		99.9
H27.7	106.2	99.9		99.9	110.2	99.2		99.2	105.5	100.1		100.1
H27.8	107.1	100.5		100.5	114.9	102.0		102.0	105.6	100.2		100.2
H27.9	107.8	101.3		101.3	117.6	105.5		105.5	105.9	100.5		100.5
H27.10	107.5	101.1		101.1	114.0	102.8		102.8	106.3	100.8		100.8
H27.11	106.3	99.8		99.8	105.7	93.7		93.7	106.4	100.9		100.9
H27.12	106.7	99.9		99.9	108.3	95.0		95.0	106.4	100.9		100.9
H28.1 2016	107.7	100.9		100.9	114.8	100.8		100.8	106.4	100.9		100.9
H28.2	108.4	101.4		101.4	118.6	104.2		104.2	106.5	100.9		100.9
H28.3	108.3	101.3		101.3	117.7	103.3		103.3	106.5	101.0		101.0
H28.4	107.9	101.2		101.2	115.6	101.9		101.9	106.5	101.0		101.0
H28.5	108.1	101.2		101.2	116.6	102.4		102.4	106.5	101.0		101.0
H28.6	107.5	101.1		101.1	112.1	100.6		100.6	106.7	101.2		101.2
H28.7		101.0		101.0		99.9		99.9		101.3		101.3
H28.8		101.1		101.1		100.3		100.3		101.3		101.3
H28.9		101.8		101.8		104.7		104.7		101.3		101.3
H28.10		103.5		103.5		114.5		114.5		101.4		101.4
H28.11		103.4		103.4		113.9		113.9		101.4		101.4
H28.12		102.5		102.5		108.1		108.1		101.4		101.4
H29.1 2017		102.7		102.7		108.8		108.8		101.5		101.5
H29.2		102.2		102.2		105.7		105.7		101.6		101.6
H29.3		101.9		101.9		102.9		102.9		101.7		101.7

基準	食 料				生鮮食品				生鮮食品を除く食料			
	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100
H29.4		102.1		102.1		103.7		103.7		101.8		101.8
H29.5		102.0		102.0		102.9		102.9		101.8		101.8
H29.6		102.0		102.0		101.1		101.1		102.1		102.1
H29.7		101.7		101.7		98.8		98.8		102.2		102.2
H29.8		102.0		102.0		101.1		101.1		102.2		102.2
H29.9		102.9		102.9		106.0		106.0		102.3		102.3
H29.10		102.2		102.2		100.7		100.7		102.4		102.4
H29.11		103.2		103.2		106.9		106.9		102.6		102.6
H29.12		104.3		104.3		113.3		113.3		102.6		102.6
H30.1 2018		105.9		105.9		122.5		122.5		102.8		102.8
H30.2		105.3		105.3		118.8		118.8		102.8		102.8
H30.3		103.8		103.8		109.4		109.4		102.8		102.8
H30.4		102.8		102.8		102.1		102.1		103.0		103.0
H30.5		102.8		102.8		102.1		102.1		102.9		102.9
H30.6		102.4		102.4		99.8		99.8		102.9		102.9
H30.7		103.0		103.0		103.1		103.1		103.0		103.0
H30.8		104.2		104.2		109.8		109.8		103.1		103.1
H30.9		104.7		104.7		111.9		111.9		103.3		103.3
H30.10		104.6		104.6		111.6		111.6		103.3		103.3
H30.11		103.8		103.8		105.4		105.4		103.4		103.4
H30.12		103.2		103.2		102.6		102.6		103.3		103.3
H31.1		104.3		104.3		108.9		108.9		103.5		103.5
H31.2		103.8		103.8		105.8		105.8		103.4		103.4
H31.3		103.5		103.5		102.9		102.9		103.6		103.6
H31.4		103.5		103.5		101.8		101.8		103.9		103.9
R01.5 2019		103.6		103.6		102.1		102.1		103.9		103.9
R01.6		103.9		103.9		102.6		102.6		104.1		104.1
R01.7		104.0	98.3	104.0		102.3	94.4	102.3		104.3	99.0	104.3

基準	食 料				生鮮食品				生鮮食品を除く食料			
	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100	H22 = 100 2010	H27 = 100 2015	R02 = 100 2020	合成計算 H27=100
R01.8		104.2	98.5	104.2		104.5	96.4	104.5		104.2	99.0	104.2
R01.9		105.2	99.4	105.2		109.4	101.0	109.4		104.4	99.1	104.4
R01.10		105.5	99.8	105.5		107.7	99.4	107.7		105.1	99.9	105.1
R01.11		105.3	99.6	105.3		105.5	97.3	105.5		105.3	100.0	105.3
R01.12		105.2	99.4	105.2		105.0	96.9	105.0		105.2	99.9	105.2
R02.1 2020		105.6	100.2	105.6		106.7	99.8	106.7		105.4	100.2	105.4
R02.2		105.1	99.6	105.1		103.8	96.7	103.8		105.3	100.1	105.3
R02.3		104.9	99.5	104.9		103.3	96.3	103.3		105.3	100.1	105.3
R02.4		105.8	100.3	105.8		108.6	101.8	108.6		105.2	100.0	105.2
R02.5		105.8	100.3	105.8		108.0	101.1	108.0		105.4	100.2	105.4
R02.6		105.5	99.9	105.5		105.9	98.5	105.9		105.4	100.1	105.4
R02.7		105.9	100.2	105.9		109.5	101.1	109.5		105.3	100.0	105.3
R02.8		107.2	101.0	107.2		118.6	108.0	118.6		105.1	99.8	105.1
R02.9		107.2	100.5	107.2		118.0	104.2	118.0		105.2	99.8	105.2
R02.10		106.7	100.4	106.7		113.5	102.5	113.5		105.4	100.0	105.4
R02.11		105.1	99.4	105.1		104.4	96.9	104.4		105.3	99.9	105.3
R02.12		104.3	98.8	104.3		100.1	93.3	100.1		105.1	99.8	105.1
R03.1 2021		105.5	100.0	105.5		106.4	100.0	106.4		105.3	99.9	105.3
R03.2		105.0	99.5	105.0		103.7	97.2	103.7		105.3	99.9	105.3
R03.3		104.7	99.1	104.7		101.7	94.8	101.7		105.3	99.9	105.3
R03.4		104.5	99.0	104.5		100.6	94.4	100.6		105.3	99.8	105.3
R03.5		104.9	99.3	104.9		102.3	95.7	102.3		105.4	100.0	105.4
R03.6		105.6	99.9	105.6		106.5	99.2	106.5		105.4	100.0	105.4
R03.7			99.6	105.4			96.8	104.9			100.1	105.4
R03.8			99.9	105.7			98.5	106.8			100.1	105.4
R03.9			101.4	107.3			106.5	115.4			100.4	105.7
R03.10			100.8	106.6			101.4	109.9			100.7	106.0
R03.11			100.8	106.6			99.9	108.3			101.0	106.4

基準	食料				生鮮食品				生鮮食品を除く食料			
	H22=100 2010	H27=100 2015	R02=100 2020	合成計算 H27=100	H22=100 2010	H27=100 2015	R02=100 2020	合成計算 H27=100	H22=100 2010	H27=100 2015	R02=100 2020	合成計算 H27=100
R03.12			100.9	106.8			100.8	109.3			100.9	106.2
R04.1 2022			102.0	107.9			106.5	115.4			101.2	106.6
R04.2			102.3	108.2			107.1	116.1			101.5	106.9
R04.3			102.5	108.4			105.9	114.8			101.9	107.3
R04.4			102.9	108.9			105.9	114.8			102.4	107.8
R04.5			103.4	109.4			107.5	116.5			102.6	108.0
R04.6			103.6	109.6			105.7	114.6			103.2	108.7

R04.06時点でのウエイト 食料2626 = 生鮮食品396 + 生鮮食品を除く2230





食品価格動向調査(加工食品)の推移

(単位 %)

調査期間	食パン	即席めん	ゆでうどん	小麦粉	牛乳	チーズ	豆腐	食用油 (キャノーラ油)	食用油 (サフラワー油)	マーガリン	マヨネーズ	しょう油	みそ	かまぼこ	まぐろ缶詰	バター	平均
平成27年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成28年	102.3	100.7	99.4	102.5	103.4	101.5	95.1	97.3	98.9	95.2	97.7	99.6	100.3	100.6	104.2	102.4	100.1
平成29年	101.1	99.4	98.7	101.3	105.6	96.9	93.9	93.9	96.0	94.3	98.7	100.0	101.7	98.7	104.2	101.9	99.1
平成30年	100.2	100.0	100.4	104.2	108.6	100.0	92.7	94.5	95.7	97.7	97.0	98.9	107.2	97.5	104.2	103.1	100.1
平成31年	104.9	101.4	103.6	112.2	113.3	107.3	93.6	101.2	99.4	96.9	102.1	102.8	112.1	101.2	111.1	103.3	104.1
令和2年	102.3	108.5	100.0	110.7	112.3	105.3	95.5	97.4	98.9	94.2	100.4	104.1	110.8	101.2	109.6	103.4	103.4
令和3年	100.5	107.2	104.3	110.7	112.3	103.8	93.4	95.6	94.1	98.0	96.9	101.2	108.7	101.2	108.8	103.0	102.5
令和4年	107.8	107.2	107.4	125.7	112.3	110.0	96.7	126.1	115.8	103.1	116.8	110.6	109.6	106.1	108.2	102.9	110.4
参考 令和4年5月	107.4	107.2	108.0	126.1	112.7	109.4	97.6	127.3	117.5	103.1	116.8	110.6	109.6	106.7	108.9	102.9	110.8
参考 令和4年6月	108.7	119.1	108.3	126.5	111.9	110.0	98.0	129.1	119.8	103.7	117.9	111.0	109.4	107.3	108.9	102.9	112.0
参考 令和4年7月	112.7	120.4	108.7	129.4	112.3	110.0	98.4	135.3	126.4	103.8	116.8	111.7	110.6	107.3	109.6	102.7	113.5

※ 調査期間は4月第2週

※ 食品価格動向調査値(農林水産省)に対し、平成27年4月第2週を100%とするよう換算を行い記載した

※ 食品価格動向調査の概要:食品の小売店における価格動向を迅速に把握するため、主要な加工食品の小売価格について調査を行うもの。調査対象店舗は、各都道府県10店舗の量販店

## 食品価格動向調査(野菜)の推移

全国平均小売価格

(価格、単位：円(税込)/kg)

調査期間	キャベツ ★☆	ねぎ ☆	レタス ★☆	ばれいしょ ☆	玉ねぎ ☆	きゅうり ★☆	トマト ★☆	ほうれん草	にんじん	はくさい	だいこん	なす	4種平均 ★	7種平均 ☆
平成26年 4月14日の週	166		358			506	647	790					419.25	
平成27年 4月13日の週	200		504			635	748						521.75	
平成28年 4月11日の週	198		482			518	810						502.00	
平成29年 4月10日の週	232		452		273	501	669						463.50	
平成30年 4月9日の週	206		357			492	642				171		424.25	
平成31年 4月8日の週	156	527	430	340	293	510	689					677	446.25	420.71
令和2年 4月13日の週	235	569	500	383	226	613	764					739	528.00	470.00
令和3年 4月12日の週	133	669	314	561	236	519	624		437				397.50	436.57
令和4年 4月11日の週	204	580	450	522	490	526	668		370				462.00	491.43
(参考) 令和4年 5月9日の週	212	642	413	550	581	532	656		385				453.25	512.29
(参考) 令和4年 6月13日の週	179	809	400	419	495	487	644		369				427.50	490.43
(参考) 令和4年 7月11日の週	170	819	322	363	430	495	631		407				404.50	461.43
期間中の 上昇率 原則R4/H27.04	2.0%		-10.7%			-17.2%	-10.7%						-11.5%	

## 食品価格動向調査(食肉・鶏卵)の推移

全国平均小売価格 (単位：円(税込)/100g 鶏卵は円(税込)/10個)

調査期間	輸入牛肉 冷蔵ロース	国産牛肉 冷蔵ロース	豚肉 ロース	鶏肉 もも	鶏卵	平均
平成27年4月 (4/13~4/17)	338	721	267	134	216	335.20
平成28年4月 (4/11~4/13)	303	775	261	130	227	339.20
平成29年4月 (4/10~4/12)	299	799	262	130	226	343.20
平成30年4月 (4/9~4/11)	298	788	261	127	221	339.00
平成31年4月 (4/8~4/10)	299	814	259	126	211	341.80
令和2年4月 (4/13~4/15)	288	812	260	124	210	338.80
令和3年4月 (4/12~4/14)	281	824	262	128	213	341.60
令和4年4月 (4/12~4/14)	322	833	258	127	213	350.60
参考令和4年5月 (5/9~5/11)	321	839	258	125	218	352.20
参考令和4年6月 (6/13~6/15)	327	827	260	127	220	352.20
参考令和4年7月 (7/11~7/13)	327	839	260	127	220	354.60
期間中の 上昇率 (H27/R4.4)	-4.7%	15.5%	-3.4%	-5.2%	-1.4%	4.6%

輸入牛肉は冷蔵ロース、国産牛肉は冷蔵ロース、豚肉はロース、鶏肉はもも肉(単位：円/100g)。鶏卵はLサイズ・10個入(単位：円)

鶏卵はLサイズ。ただし、令和2年度以降は混合サイズ

食肉鶏卵の令和2年4月の調査は、東京都、大阪府、埼玉県、千葉県、神奈川県、兵庫県、福岡県での調査を中止した。

魚介類の令和2年4月の調査は、東京都、大阪府、埼玉県、千葉県、神奈川県、兵庫県、福岡県での調査を中止した。

## 食品価格動向調査(魚介類)の推移

全国平均小売価格 (価格、単位：円(税込)/kg)

調査期間	まぐろ	えび	ぶり	さけ	平均
平成27年4月 (4/13~4/17)	-	-	-	-	
平成28年4月 (4/11~4/13)	-	-	-	-	
平成29年4月 (4/10~4/12)	-	-	-	-	
平成30年4月 (4/9~4/11)	-	-	-	-	
平成31年4月 (4/8~4/10)	434	309	251	259	313.25
令和2年4月 (4/13~4/15)	410	306	250	247	303.25
令和3年4月 (4/12~4/14)	409	303	247	247	301.50
令和4年4月 (4/11~4/13)	471	317	277	269	333.50
参考令和4年5月 (5/9~5/11)	464	322	283	270	334.75
参考令和4年6月 (6/13~6/15)	465	320	302	274	340.25
参考令和4年7月 (7/11~7/13)	478	318	292	277	341.25
期間中の 上昇率 (H31/R4.4)	8.5%	2.6%	10.4%	3.9%	6.5%



2022/6/30

**TDB**

株式会社帝国データバンク  
情報統括部  
東京都新宿区四谷本塩町 14-3  
TEL:03-5919-9343 (直通)  
URL:https://www.tdb.co.jp

特別企画：「食品主要 105 社」価格改定動向調査（7月）

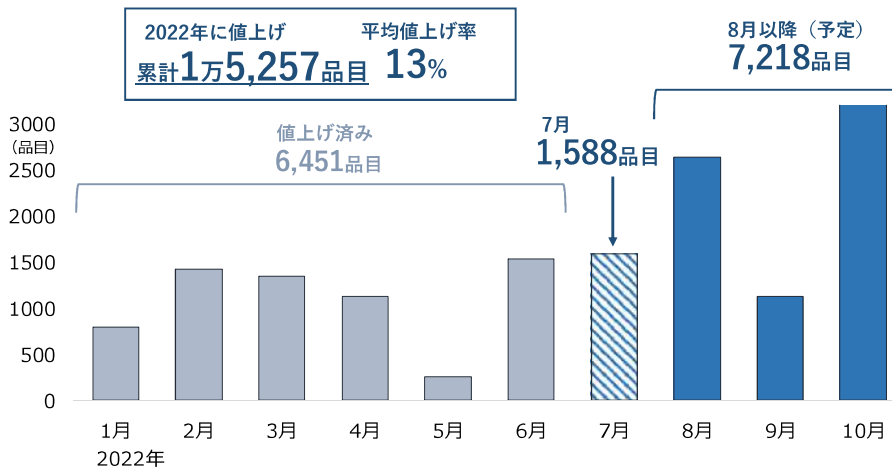
## 「値上げラッシュ」続く 7月は1600品目が値上げ 年内累計は2万品目超えの勢い

～ 6月末で1.5万品目超の値上げ計画判明、10月は最多の3000品目超 ～  
急激な円安、食卓への影響は秋以降に本格化「再値上げ」の動きも今後強まる見通し

これまで、食料品の価格上昇の主な要因としては小麦・油脂の世界的な価格高騰に加え、原油価格の高騰に伴う物流費や包装資材などの値上がりを中心となってきた。しかし、夏以降はこうした原材料費の上昇に加え、急激に進んだ円安による輸入コストの上昇を主な値上げ理由とするケースが目立ってきた。1ドル130円台を「既定路線」として受け止め、これらの相場を前提とした価格設定を決断していることも、8月以降に値上げペースが加速した要因となっている。

今後も、急激に進む円安を背景に価格改定を行うケースは増加していくとみられる。特に、今年初めに値上げを行っている企業・品目では、現在の為替水準を前提としていないケースが多く、既に再値上げ・再再値上げといった動きが足元で進んでいる。そのため、値上げは秋口にかけてさらに増加し、年内で累計2万品目を超える可能性が高い。

2022年の食品値上げ（6月30日時点）品目数/月別



[注] 調査時点の上場105社の2022年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど一部重複を含む

[注] 品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 上西 伴浩

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

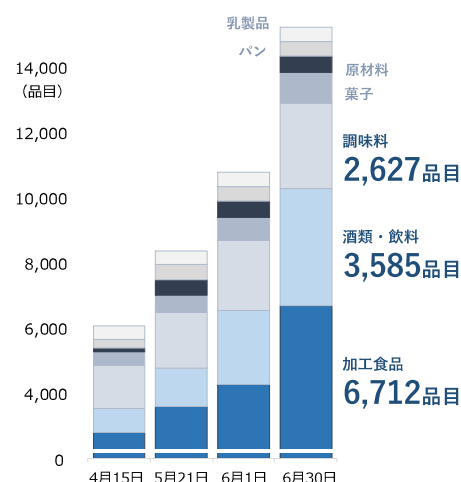
当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

「値上げラッシュ」が今夏以降、本格化する見通しだ。主要メーカー105社における、2022年以降の価格改定計画（値上げ、実施済み含む）を追跡調査した結果、6月末までに累計1万5257品目で値上げが判明した。前回調査時点（6月1日、1万789品目）から約1カ月間でさらに5000品目の値上げ計画が明らかになった。このうち、7月単月での値上げは1588品目を実施されるほか、8月は初めて2000品目を超えた。この結果、7・8月の2カ月だけで4000品目超が値上げされる予定で、「値上げの夏」の様相を呈してきた。ただ、値上げの勢いは秋口以降も止まる気配がみられず、10月も単月としては年内最多となる3000品目超で値上げ計画が明らかになっている。各品目の価格改定率（各品目での最大値）は平均で13%となり、前回調査から変動はないものの、夏～秋以降の値上げでは、2022年当初に比べて値上げ幅が拡大傾向にある。

今夏以降の値上げ要因では、原油高に伴う包装資材や容器、物流費の高騰、加えて急激な円安による影響を挙げたケースが多かった。2022年5月頃までは小麦など原材料価格の高騰が値上げの理由だったが、近時は急激な円安や原油高による輸入・物流コストの上昇へと変化している。

値上げ品目・分野別推移



### 加工食品の値上げ率上昇、高値続く水産品関連の値上げ目立つ 10月は飲料で値上げラッシュ

食品分野別に値上げとなった品目をみると、最も多いのは加工食品で6712品目が判明した。前月から2000品目超増加し、全品目のうち唯一6000品目を超えた。北米でのスケソウダラ漁不振によるすり身価格の上昇などを背景に、自身フライなどの冷凍食品や水産加工品などで値上げが相次いだ。また、値上げ率平均も平均15%に達し、前月からさらに上昇した。食材価格に加え、原油高に伴う物流コスト、急激な円安による輸入コストの上昇分を価格に転嫁する動きが8月以降際立っている。酒類・飲料（3585品目）は前月から約1300品目増加したほか、値上げ率も平均15%に達した。ビール類などでは麦芽・トウモロコシなどの価格上昇を、清涼飲料水では主にPETボトルなど包装資材の価格高騰が響き、秋口以降一斉に価格が改定される。調味料（2627品目）でも、だしなど水産品関連の値上げが相次ぎ、前月から約500品目増加した。

#### 主な食品分野 価格改定の動向

	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子
品目数	<b>6,712</b>	<b>2,627</b>	<b>3,585</b>	<b>939</b>
(内は8月以降)	<b>(3,207)</b>	<b>(925)</b>	<b>(2,642)</b>	<b>(416)</b>
値上げ率 平均	<b>15%↑</b>	<b>11%</b>	<b>15%</b>	<b>12%</b>
原因	<b>水産品 物流・包装資材 円安</b>	<b>水産品 包装資材 円安</b>	<b>小麦価格 PETボトルなど 容器価格の上昇</b>	<b>円安 ジャガイモ、砂糖、 包装資材</b>
主な品目	水産加工品 ハム・ソーセージ 冷凍食品 など	ドレッシング マヨネーズ だし製品 など	甲類焼酎・チューハイ ビール・発泡酒 炭酸飲料 など	スナック菓子 チョコレート菓子 アイスクリーム など

特別企画：「食品主要 105 社」価格改定動向調査（8 月）

# 食品値上げ、年内「2 万品目」迫る 円安影響で記録的「値上げの秋」に

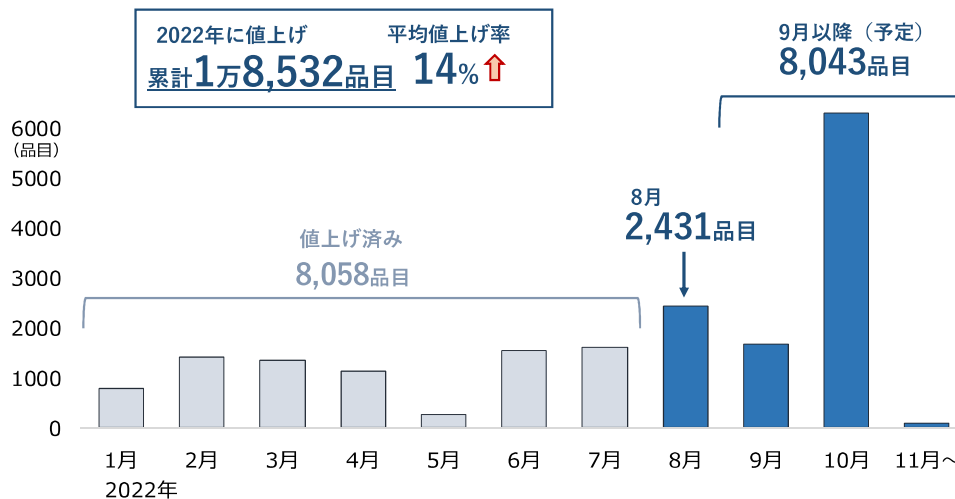
～ 8 月は 2400 品目、10 月は年内最多の 6000 品目超で値上げ ～

値上げへの「躊躇」、年初に比べて低下 コスト増分を価格に反映する動き強まる

これまで、食料品の価格上昇の主な要因としては小麦・油脂の世界的な価格高騰に加え、原油価格の高騰に伴う物流費や包装資材などの値上がりを中心となってきた。しかし、夏以降はこうした原材料費の上昇に加え、一時は 1 ドル 140 円台に迫った急激な円安による、輸入コストの上昇を主な値上げ理由とするケースが目立った。

国内でも多くの物品で値上がりが続く中で、食品各社でも年初に比べて価格改定への抵抗感が低下しており、躊躇なく機動的に値上げを行う企業・品目も足元では出てきている。急激に進む円安など、コスト高を背景に価格改定を行うケースは引き続き増加していくとみられ、再値上げ・再再値上げといった動きも含め、値上げは8月中にも年内累計2万品目を超えるとみられる。

2022 年の食品値上げ（7 月 31 日時点）品目数/月別



[注] 品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 上西 伴浩

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

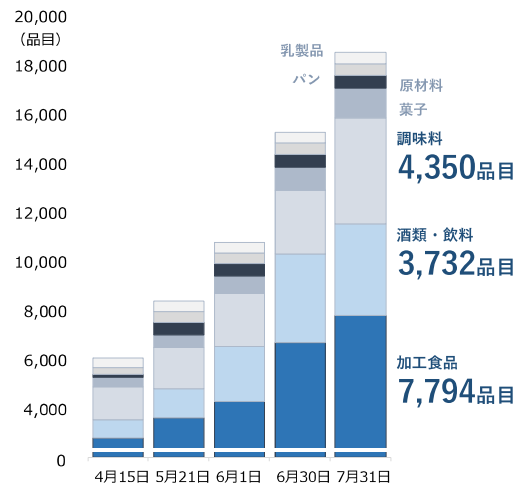
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

「値上げラッシュ」が続く。上場する主要飲食料品メーカー105社における、2022年以降の価格改定計画（値上げ、実施済み含む）を調査した結果、7月末までに累計1万8532品目で値上げが判明した。このうち、8月単月での値上げは2431品目に上り、単月で初めて2000品目を超えた。値上げの勢いは秋口以降も止まる気配がみられず、10月は6305品目で値上げ計画が明らかになっており、単月としては年内最多だった。1万品目を突破した6月1日から約2カ月間で1万品目の値上げが新たに判明しており、このペースで推移すると、年内の累計値上げ品目数は8月中に2万品目超えが確実となる。

また、各品目の価格改定率（各品目での最大値）は平均で14%となり、6月末時点から上昇した。急激に進んだ円安を背景に、夏～秋以降の値上げを中心として値上げ幅が拡大している。

今夏以降の値上げ要因では、原油高に伴う包装資材や容器、物流費の高騰、加えて急激な円安による影響を挙げたケースが多かった。2022年5月頃までは小麦など原材料価格の高騰が値上げの理由だったが、近時は原油高による輸入・物流コストの上昇、さらに急激な円安にともなう輸入コストの上昇へと変化している。特に、年初に値上げを実施した食品類を中心として円安を理由とした再値上げ・再再値上げが秋以降に集中しており、全体の値上げ品目数を大幅に押し上げる要因となっている。

値上げ品目・分野別推移



### 多くの食品分野で値上げ率上昇 円安・物流費上昇で大幅引き上げ目立つ

食品分野別に値上げとなった品目をみると、最も多いのは加工食品で7794品目が判明した。前月から1000品目超増加し、全品目のうち唯一7000品目を超えた。値上げ率も平均で16%に達し、特に年後半にかけて大幅に値上げする食品が多い。調味料では4350品目となり、前回調査から約2000品目が増加した。だし製品など水産品関連の値上げが相次いでいることに加え、年内に砂糖や食用油が複数回値上げされたことを背景に、マヨネーズ製品などで値上げが顕著だった。酒類・飲料（3732品目）では新たな値上げはほぼ見られなかったものの、10月にビール類や清涼飲料水で一斉値上げが予定されており、値上げ品目数は全分野で3番目に多い。

主な食品分野 価格改定の動向

	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	原材料 (製粉など)
品目数	<b>7,794</b>	<b>4,350</b>	<b>3,732</b>	<b>1,192</b>	<b>526</b>
(内は9月以降)	<b>(2,334)</b>	<b>(2,601)</b>	<b>(2,753)</b>	<b>(257)</b>	<b>(37)</b>
値上げ率平均	<b>16%↑</b>	<b>14%↑</b>	<b>15%</b>	<b>13%↑</b>	<b>13%↑</b>
原因	水産品・食肉 物流・包装資材 円安	水産品・砂糖 包装資材 円安	小麦価格 PETボトルなど 容器価格の上昇	円安 ジャガイモ・砂糖 包装資材	小麦価格 物流費 食用油
主な品目	水産加工品 ハム・ソーセージ 冷凍食品 など	ドレッシング マヨネーズ だし製品 など	甲類焼酎・チューハイ ビール・発砲酒 炭酸飲料 など	スナック菓子 チョコレート菓子 アイスクリーム など	パスタ製品 キャノーラ油 マーガリン など



## 給食費保護者負担額 速算表

上昇率	小学校		中学校	
	日額 (円)	上昇額 (円)	日額 (円)	上昇額 (円)
-5.0%	237.50	-12.50	270.75	-14.25
-4.0%	240.00	-10.00	273.60	-11.40
-3.0%	242.50	-7.50	276.45	-8.55
-2.0%	245.00	-5.00	279.30	-5.70
-1.0%	247.50	-2.50	282.15	-2.85
0.0%	250.00	0.00	285.00	0.00
1.0%	252.50	2.50	287.85	2.85
2.0%	255.00	5.00	290.70	5.70
3.0%	257.50	7.50	293.55	8.55
4.0%	260.00	10.00	296.40	11.40
5.0%	262.50	12.50	299.25	14.25
6.0%	265.00	15.00	302.10	17.10
7.0%	267.50	17.50	304.95	19.95
8.0%	270.00	20.00	307.80	22.80
9.0%	272.50	22.50	310.65	25.65
10.0%	275.00	25.00	313.50	28.50
11.0%	277.50	27.50	316.35	31.35
12.0%	280.00	30.00	319.20	34.20
13.0%	282.50	32.50	322.05	37.05
14.0%	285.00	35.00	324.90	39.90
15.0%	287.50	37.50	327.75	42.75
16.0%	290.00	40.00	330.60	45.60
17.0%	292.50	42.50	333.45	48.45
18.0%	295.00	45.00	336.30	51.30
19.0%	297.50	47.50	339.15	54.15
20.0%	300.00	50.00	342.00	57.00

